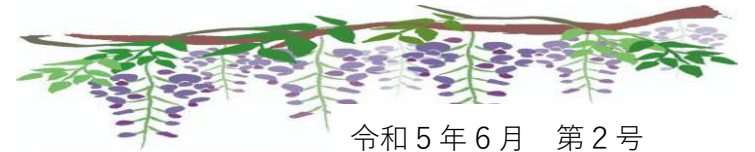




～病児保育室たより～



令和5年6月 第2号

平素より病児保育をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
新学期が始まり早2ヶ月が過ぎようとしています。なれない生活での緊張や行事から子供さんの疲れも出始め、合わせて最近の気候の著しい変化で体調が崩れ始めてはいませんか？

新型コロナウイルスの発症は収まらず、最上地区5月15日～21日の感染者報告数17名でした。国では令和5年5月8日以降、**5類感染症**とすることが決まりました。そのため病児室では下記のような対策で感染予防を行っています。

- 1・発熱や風邪症状などあれば必ず新型コロナウイルス専用検査を行ってください
- 2・医師より連絡票を必ず記載していただけてください
- 3・マスク着用が可能なお子様は、当日朝よりマスク着用してください
- 4・お子さんの通っている保育園や小学校が、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い休園・休校になった場合の病児保育のご利用はお断りいたします
- 5・保育士はじめ職員はマスク着用で対応させていただきます
感染症は対策を行っても拡大を完全に防げるものではありません
日頃の手洗いやうがい、咳エチケット、人ごみは避けるなどの予防意識が必要とされています。どうぞ御利用時のご協力をお願いいたします

参考＝5類感染症には季節性インフルエンザやRSウイルス感染症、後天性免疫不全症候群（エイズ）、風疹、麻疹（はしか）、水痘（みずぼうそう）、手足口病などが指定されています。



<これからの季節、気をつけるべきは感染症ではありません>

～熱中症対策を忘れずに～

気温が高くなる夏は、熱中症の危険性も高まります。言葉が話せない乳幼児は、喉が渴いてもそれを訴えることができません。ベビーカーに乗せて外出するときは、注意が必要です。地面近くの温度は高くなっているため、できるだけ日陰を通行するようにしましょう。また、子どもは喉が渴くのも忘れて遊びに夢中になります。脱水に十分注意して、こまめに**水分補給**をするように気をつけてください。ぐったりした様子や嘔吐、筋肉がつるなどの症状がみられたときは、熱中症の可能性が強いため、体を冷やしてすぐに病院を受診しましょう。



NPO法人オープンハウスこんぺいとう

病児保育室（29-2301 / 8時30分～17時 受付）